

令和7年度 第2回学校運営協議会の報告

9月18日(木)開催

※ 学校運営協議会の内容の概略

5限の授業、1年生 国語、2年生 国語、3・4年生 体育、5年生 外国語を参観した。
※6年生は真野で親善陸上の練習を行っていた。

1 会長あいさつ

学校便りに「援助要請行動ができない。」との記載があった。不登校も増加し、佐渡市では100名を越えている。コロナの影響が関わっていて、黙食や交流活動等の制限などで、コミュニケーション能力が育たず、援助要請行動ができなくなってきているのではないかな。

2 学校長あいさつ

パワーポイントを使って児童の活動の様子が紹介された。また、6年生対象の全国学力・学習状況調査の結果について、「学力は国・数・理ともに全国水準を大きく上回り、基礎学力が身につく高い意欲が見られる」とのことだった。課題として、「思考力・判断力・表現力、情報をまとめる能力が低い傾向がある」「向社会性・自己有用感が低くなっている」との報告があった。

3 協 議

(1) 授業参観の様子について

各委員から、「個への配慮がなされている」「基礎・基本が大切にされ、良く身についている」「体育では、各自の能力に応じたチャレンジができるように工夫されている」などの肯定的な意見が多く出された。また、「鉛筆の持ち方が気になる」

「高学年で声が小さい」との意見も出された。

(2) 前期学校関係者評価について

教頭より、事前配付の資料を基に説明があり、「体育部の教育活動がB評価になった以外は、A評価になった」との報告がされた。

委員から、「自己有用感について、A評価になっているが、全国学力・学習状況調査の結果が低くなっている原因は何か」との質問があり、「調査の対象が6年生のみであること、質問項目や集計の方法が違うことが要因だと考える」との回答があった。

「望ましくない行動が見られた場合どのように指導しているか」との質問が出され、「児童の気持ちを受け止めながらも、本人が行動を理解し、納得できるような指導を心掛けている」との回答であった。委員から「まず行動を制止することで、周りの児童の安心感を生む場合もあるのではないかな」との意見も出された。

「体育」に関しては、「特に高温の日が続き熱中症予防として、児童の活動を制限しなければいけないことが多かった」との報告もあった。

(3) 今後の教育活動について

平野校長より今後の行事の予定が報告された。その中で、冬囲い・もちつき大会については、「学校支援ボランティアの方にも案内を出し、協力を依頼したい」との意見が出された。

令和7年度 前期学校評価の結果（達成目標のみ）

	学校評価の観点・基準	結 果	評 価
知 育 部	○ 「学び方」 関する意識が高まった児童が75%以上 ・ 「学び方」 に関する4項目の自己評価が維持・向上した。 「学びに向かう力」「主体的な学び」「対話的で深い学び」「協働の学び」	91%	A
徳 育 部	○ 「自己有用感」 についての肯定的評価が90%以上 ・ 自分のよいところを感謝されたり、ほめられたりしたことがある。 ・ 自分には良いところがあると思う。	93% (95%)	A (A)
体 育 部	○ 進んで運動する、あきらめずに挑戦する児童が85%以上 ・ 体育や休み時間に進んで運動に取り組んでいる。 ・ 目標をもち、苦手な運動にもあきらめずに挑戦している。	91%	A

※ 結果の数値は児童アンケートの結果です。

※ 結果の数値・評価の上段は今年度7月、(下段)は昨年度12月です。

※ 「知」・「体」については評価項目が変更したため昨年の数値・評価はありません。